

2026年7月6日

長瀬産業株式会社

## 混合・攪拌 DX ソリューション「ミキシングコンシェルジュ™」が

### 2026年版ものづくり白書に掲載

#### 熟練者依存からの脱却とプロセス高度化を支援する現場密着型 DX ソリューションとして評価

長瀬産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上島宏之、以下「長瀬産業」）が開発・提供する混合・攪拌プロセス向け数値解析ソフトサービス「ミキシングコンシェルジュ™」が、経済産業省・厚生労働省・文部科学省がとりまとめる2026年版ものづくり白書（2026年5月29日発行）に掲載されました。同書への掲載は、日本の製造業が抱える技術継承の難しさ（熟練者依存からの脱却）、プロセス最適化、DX推進といった課題に対し、現場で活用できるデータ活用・シミュレーションによるソリューションとして、同サービスの社会的意義と先進性が評価されたものです。（掲載：<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2026/pdf/all.pdf#page=213>）

日本の製造業では、熟練技能者の減少や人材不足を背景に、属人的なノウハウに頼らない生産体制への転換が急務となっています。特に混合・攪拌工程は、装置内部の状態が見えにくく「ブラックボックス化」しやすいことから、品質の安定化やスケールアップ時の条件出しなどに課題が顕在化しています。

グループ会社に製造・研究機能を有する長瀬産業では、グループ内の製造現場や技術の知見を活かし、2024年にミキシングコンシェルジュを開発、提供を開始しました。ミキシングコンシェルジュは、流体解析（CFD）とコンサルティングを組み合わせ、混合・攪拌プロセスを「見える化」しながら最適化を支援するDXソリューションです。混合・攪拌プロセスに特化した数値解析ソフト・支援サービスであり、単なるソフト提供に留まらず、「解析手法+結果の解釈+プロセス提案」までを提供することができる点から、多様な製造業で導入が進んでいます。また、2026年末以降に、半導体やライフサイエンスなど要求水準の高い分野への適用を見据えた機能強化とサービス刷新を予定しており、これらの分野での導入加速を図ります。

2026年版ものづくり白書では、ミキシングコンシェルジュが、誰でも簡単に使えるというコンセプトのもと、特定の工程の支援のみならず包括的な支援サービスを提供することで、ものづくりの現場に寄り添ったソフトサービスである点が評価を受け、掲載に至りました。今回の掲載を踏まえ、混合・攪拌工程における課題やニーズを改めて把握するとともに、新規・既存顧客との対話の機会を広げることで、より幅広い製造現場におけるプロセス改善・生産性向上の支援を継続していきます。

NAGASE グループは、マテリアルを通じて、お客さまと社会の課題を解決し「ひと」と「地球」のウェルビーイングに貢献する企業を目指し取り組んでまいります。

「ミキシングコンシェルジュ™」展示会出展予定

展示会名：プラントショー2026

会期：2026年7月15日（水）～17日（金）

会場：東京ビッグサイト 東ホール

出展内容：ミキシングコンシェルジュ™の事例紹介、解析デモ、個別相談等

[プラントショー2026 出展のお知らせ | NAGASE グループ](#)

■「ミキシングコンシェルジュ™」概要

[混合・攪拌工程特化型ソフトサービス ミキシングコンシェルジュ™ | NAGASE グループ](#)

※2024年11月5日プレスリリース

[製造現場の混合・攪拌プロセスを可視化 「ミキシングコンシェルジュ™」で日本のものづくりをDXで支援 生産性向上と技術伝承に貢献](#)

◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 <https://www.nagase.co.jp/>

<事業に関するお問い合わせ>

機能化学品事業部 機能性マテリアル部 TEL：080-8864-4689

<報道に関するお問い合わせ>

経営管理本部 経営管理部 コーポレートコミュニケーション課 TEL：080-8828-8676